

こぶしだより

1997年4月30日(水)

発行 第203号

こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

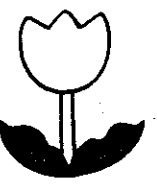
☎0285(62)1911

こぶしの実践

宿泊訓練 ①

こぶし作業所では、開所当時から、自立に向けた取り組みのひとつとして宿泊訓練を行っています。全員の仲間を対象に、年に一度・3〜4名のグループに分かれ、2名の職員(1泊につき2名)と2泊3日の外泊を共にするものです。宿泊先は、宇都宮市若草町にある栃木県身体障害者福祉会館生活訓練室で、和室・台所・お風呂も付いていてずっと利用させていたいただいでいます。(但し余り快適とは言えません、すみません)

まず、仲間たちはどんな気持ちで参加しているのでしょうか。淳子さんは、他の仲間が大きなカバンを持って出勤してくるとすばやくキャッチ！職員のところへやってきて「宿泊訓練いつ？」と聞き、自分の予定を確認すると「やりたくない」とニコリうなづき安心します。智子さんは、お



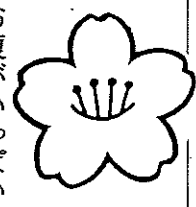
母さんと一緒に荷造りしながら、家から離れて泊まるのだという事を理解し、心の準備をするようです。こんな風につきかか定着したこのとりくみを、皆本当に楽しみにしているようです。「訓練」という名がついていて、いかにもビシビシやるものなのかと思われるかもしれませんが、そんな事はありません。いつも通り一日作業し、車で会館へ移動、途中皆で日中決めた献立に添ってスパーで買物。おやつや時には職員の強い希望でアルコールも少し(自腹です)カゴの中へ。会館到着後は、お風呂準備・夕食作り・テレビ鑑賞？を分担し夕食を囲むのは7時頃、片付け・入浴を済ませ、みんなだ

布団を出したり、シーツをかきようとしてくれたり等々、あげればきりがありませんがこうした普段作業所生活の中には見かけられない仲間の姿を発見できるのも、宿泊訓練ならではの事です。

(今回は、宿泊訓練の様子をご紹介しますだけになってしまいました。次回は、とりくみを通して、基本的な生活習慣や介助等について考えてみたいと思っております。)

(鈴木)

花見



今年の花見は、去る4月8日(火)にこぶし・けやき作業所合同で芳賀町の「かしの森公園」で行いました。今年の桜の開花は例年より早くちょうど満開の見頃で平日にも関わらず、駐車場が満車になる程の人出で園内は賑わい、露店も出ていて花見の雰囲気盛り上げていました。

公園に到着すると、お互いの作業所の仲間は久しぶりに会ったため「元気だった？」と話したりフリスビーやボールで遊んだりしました。いよいよ待ちに待ったお弁当です。満開の桜をみながら食べるお弁当はとてもおいしかったです。中には、少し顔が赤い仲間もいて花見を満喫していました。

お腹がいっぱいになった頃、ステージの上で南京玉すだれが始まり観にく仲間がいて一緒にステージに上がり演じている仲間もいました。ステージを終えた人達がテープを持って来ていっしょにダンスを踊りました。そのグループは、福祉施設に演芸ボランティアとして訪問している人達でした。十分に花見気分を楽しんだ後は、近くのホンドの体育館へ移動し、こぶし・けやき合同の初めてのコンサートのステージの練習をしました。初めてのせいかなかなか声がでませんでした。毎週金曜日の午後3時から芳賀町のトレーニンングセンターでするので上達するでしょう。

(田島)

みんなで大い 97

5月は田に水が入り、畦や土手には野草の花が色とりどりに揺れる水面を縁取る。鏡のような大地の上を自分の姿を映し、風に乗って飛べたらさぞや痛快であろう。

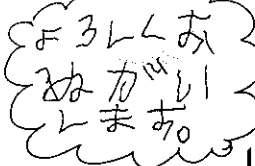
さて、春という言葉に豊かなイメージをふくらませていくこれらの野の花は一斉に咲きはじめると思うだろうがそうではない。必ず1か月くらい遅れて咲き始めるのんびりやの仲間がいる。5月には、1度は必ず炬燵を出すほどの遅霜の日がある。野草は多くの花が遅霜にやられてもこののんびりやさんが必ず生き残り、種の存続を保障するのだという。野草に本来あるこののんびりやを交配などで改良し、人間が利用しやすくなったものが野菜で、遅霜の被害で全滅するニユースをよく大きく握っているのはなにも草花だけではない。高等生物たる人間もしかりなのである。ヒトは環境の変化に敏感に対応できるように自分の身体を変化させる遺伝子を必ず持っている。一方でこの遺伝子は人間にとって都合よく(環境に適応するように)働くとはかき逆になる。具体的には適応とは逆に障害として現れてしまうのだ。



(鬼やんま)

こぶしの新人?

亀田智直くん



こぶしのニューフェイス?? 亀田智直くん。亀ちゃん“の愛称で親しまれている彼、実はすでに一昨年7月から実習生としてみんなの仲間入りをしています。

野沢養護卒、ゲームとビデオ(アニメ)が大好きな24才仲良し家族で時々カラオケに行ったり、コンサートに行ったり……。好きな食べ物はメロンといちご。よく気の利く



(校庭)

やさしい亀ちゃんですが、意外に(?)負けず嫌いな一面も……。作業班はベアリング。周囲によく目を配り、油で真っ黒に汚れた手を誇らしげに見せてくれるが、今日もみんなと頑張っています。

文化の縄に触れませんか

ひろがれコンサート チケット 発売中!!

※詳しい事は同封のチラシを

親子食卓

けやき作業所



平成9年3月8・9日待ちに待った親子食卓会、昨年8月に保護者会を開いた時に今年度の食卓会はゆっくりと泊二日するため近い所という事で、馬頭町の那珂川苑に決まり実行しました。当日は朝からよく晴れて食卓会にはもってこいの天気で、参加者総数33名は9時30分にけやきを出發しました。まず、烏山町の「山あげ会館」へ行きました。館内では山あげミニチュア展示があり、又山あげ祭りと同じ仕掛けでお祭りをわかりやすく説明してくれる補助員ジイチャンの姿は本物そっくりで面と向かって話しがたいた程良くできていました。次に「ふるさと民芸館」に行きました。近くに龍門の滝がありました。近くは雨が少なかつたため流れる水の量が少なかつたです。しかし、館内で昔滝の所の岩には大蛇が住んでいたという言い伝えがあり丸い大きい光る玉と真っ白い大蛇が荒れくるいながら岩から出てくるシーンを見て、皆ビックリし不気味な気がしましたが、龍門の滝の伝説がよくわかりました。

昼食をとる茂木町の「道の駅茂木」に向かいました。正午に到着し、レストランに入りました。お腹がすいていたのかカレーをおかわりする仲間もいました。お腹がいっぱいになったのにも関わらず、売店でジュースやアイスを買って食べている仲間もいました。「道の駅」でのんびりと時間を過ごし1時40分に出発し、「那珂川苑」へと一路向かい2時30分に到着しました。宴会は5時30分から始まりまず、それまでの時間は自由時間でお風呂へ入る人やゆっくりとくつろぐ人等ゆっくりと時間を過ごしました。5時30分になりました。最初は、何となく静かでしたが、段々とアルコール等が入り良い気分になり普段の思いを話したり、好きな歌をカラオケで歌い心行くまで楽しみ、心行くまで時の過ぎるのを忘れるくらい楽しい一夜を過ごせました。一夜明け昨日の余韻を残しながら那珂川苑を後にし、一路けやきに向かい10時30分に到着し解散しました。子供の喜ぶ姿を見て親もこの時程満足した事はありませんでした。保護者の皆様本当にご苦労様でした。

(会長・川堀幸子)

5月31日

ゆうあいピック栃木県大会が栃木県総合運動公園の陸上競技場で開催されます。仲間も何人か出場しますので、時間のある方は会場へ応援に行ってください。尚、雨天の場合は翌日6月1日に順延します。

○時間：9時30分から

5月のこよみ

31	26	25	24	18	17	11	10	5	4	3
(土)	(月)	(日)	(土)	(日)	(土)	(日)	(土)	(日)	(土)	(日)
休所日	コンサート	休所日	休所日	休所日	合同レッスン日	休所日	職員会議	子供の日	休所日	憲法記念日

全障研結成30周年記念

ぐんぐん伸びる発達芽

みんなのねがいセミナー

1997年 6月8日(日) PM1:30~

宇都宮市コミュニティセンター (文化会館となり)

全障研・育てる会

参加費 会員 ¥1,000
未会員 ¥1,500
学生 ¥1,200

主催 全国障害者問題研究会栃木支部
ありんこ保育園を育てる会

講師 近藤 直子 先生

(日本福祉大学社会福祉学部教授)

1950年生東京生まれ大阪育ち

京都大学大学院修士課程修了

専門 発達心理学

主な著書 発達芽を見つめて

ぐんぐん伸びる発達芽



こぶし作業所内 TEL 028-662-1911

ありんこ保育園内 TEL 028-652-0929